

ご支援並びにご協力、ありがとうございました。

平成26年12月に東京体育館で開催されました東日本大震災復興支援第45回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会への出場に際しましては、皆様方から多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

今大会は、4年連続8度目の全国の舞台ということで、『今度こそ全国ベスト8!』を目標に高い意識で練習を重ね、強い決意で臨んだ大会でした。

初戦当日の会場には、関東在住のOBや東京可愛山同窓会の皆様、東京薩摩川内会の皆様、また地元川内の地から田島校長先生もかけつけてくださるなど、多くの方々においでいただき、激励のお言葉とご声援で盛り上げていただきました。16時30分からの試合開始予定が遅れ、終わる頃には外は真っ暗でしたが、最後までチームの精一杯のプレーと応援を見守っていただきました。

残念ながら、初戦敗退という結果に終わりましたが、“あきらめない川高らしい戦いぶり”は、三年生のこれから進む道に、後輩達の目指すチーム作りに引き継がれ生かされていくことと確信しております。今後ともご支援の程よろしくお願い致します。簡単ではございますが、書面にて御礼に代えさせていただきます。

平成27年1月吉日 川内高校男子バスケットボール部父母会一同

【一回戦戦評：12月23日】

県立 豊浦	59	16 - 11	47	県立 川内
		12 - 18		
		21 - 9		
		10 - 9		



9年ぶり出場の県立豊浦と4年連続出場の県立川内の対戦。
 第1ピリオド。豊浦は3-2ハーフコートゾーン。対する川内は1-2-2オールコートプレスから3-2ゾーン。試合開始、豊浦が連続得点するもすかさず川内も決め返す。豊浦はマンツーマンにディフェンスを変更、その後流れを作り16-11で豊浦リード。
 第2ピリオド。豊浦のアウトサイド中心の攻撃に対し、川内はインサイド中心の攻撃を展開、徐々に点差を詰め、残り4分18-17川内が1点差まで追いつき豊浦のタイムアウト。その後、川内#16土器手が3Pバスケットカウントを含めた連続得点で逆転に成功し、流れを引き寄せたかに見えたが、ここで豊浦がオールコート1-2-2を仕掛け再度リードを奪う。しかし最後に川内#14松本のブザービーター3Pで逆転し、28-29で川内の1点リードで前半を終えた。
 第3ピリオド。豊浦はハーフコートマンツーマン、川内は3-2のハーフコートゾーンでスタート。豊浦はアウトサイドが立て続けに決まり一気に39-31とリードを奪う。その後も豊浦#14のアウトサイドシュートを中心に得点を重ね49-38とリードを広げ最終ピリオドへ。
 第4ピリオド。一進一退の攻防が続く中、残り2分55-45で豊浦が10点のリード。ここで川内タイムアウトも試合は動かずタイムアップ。最終スコア59-47で豊浦が一回戦を突破した。

